

2024年1月20日

No. 6 4 3

4月、7月、9月、11月、1月、3月
20日発行

発 行 人
〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地
公益社団法人 福島県畜産振興協会
電 話 (024) 573-0515
F A X (024) 573-0565
URL <http://fukushimalin.gr.jp/index.htm>
anteil@bz03.plala.or.jp
kanri-eiseika@bz03.plala.or.jp
keikai@bz03.plala.or.jp
編集者 伊 藤 純 一
印刷所 (株) 第 一 印 刷



公益社団法人福島県畜産振興協会
福島県畜産関係団体連絡協議会
会長 紺 野 宏



明けましておめでとうございます。

日頃より、県内の生産者・会員の皆様並びに関係機関の皆様には、当協会の事業推進につきまして格段のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと新型コロナウイルス規制が、5月の連休後に法令上5類に引き下げられたことを受け、多くのイベントで人数制限なく再開されてきています。インバウンドや外食産業の需要が、回復する事を願っています。しかし、依然としてロシアによるウクライナ侵略や円安の影響などにより配合飼料価格をはじめ多くの原材料価格は、高止まり状態で生産者の努力だけではどうにもならない大変厳しい状況が続いています。先行きが見通せない状況から経営を断念する生産者も数多く目にしました。

国、県による財政対策として、飼料対策をはじめ緊急的に様々な経営安定対策が講じられておりますが、長期化するとと思われる今の厳しい畜産情勢に対しより手厚く継続的な支援を希望するところです。

この冬も高病原性鳥インフルエンザが、全国各地で発生してきています。引き続き万全の防疫対策をお願いするところです。また、本県において一昨年末に初めて確認された高病原性鳥インフルエンザは、関係機関皆様の迅速な初動体制が功を奏し、周辺への感染拡大を防ぐ事が出来ました。改めて、関係者皆様に感謝と敬意を表します。

当協会といたしましては、国等へ対し豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザなど特定家畜伝染病の防疫対策に係る支援の継続や強化をお願いするとともに、家畜衛生対策事業の一層の推進をはじめとした飼養衛生管理の強化に向け全力を尽くしてまいります。

東日本大震災から12年が経過し復興・再生が進んでおります。去年は、帰還困難区域が残る浪江町や富岡町、飯館村の特定復興再生拠点区域の避難指示が解除されました。少しずつ住民が帰還できるようになりましたが、地域や暮らしは以前のように取り戻せているとは言えない状況です。

一方、浪江町や田村市では、酪農及び肉用牛の大規模牧場建設が予定されるなど、新たな畜産生産基盤の創設と耕畜連携による持続可能な農業の推進、さらには地域振興に大いに期待されています。

しかしながら、いまだ本県畜産業は、復興途上であり多くの課題を抱えております。特に風評を払拭することは難しく、適正な価格で流通されない状況が今なお続いています。復興にはまだまだ時間がかかることから十分な財源のもと夢と希望を抱いて安心して経営できる環境を整備し、意欲ある優れた担い手を一人でも多く確保育成していく必要があります。

担い手が、活躍し本県畜産業を発展させていくため、国・県に対して万全の対策を講じるよう関係機関・団体と一体となり強く求めて参ります。

結びに、本県畜産が躍進する年になりますよう役職員一丸となって努力して参りますので、本年もご支援、ご指導を賜りたくお願いいたします。また、皆様方の益々のご活躍とご健勝をご祈念申し上げ新年のごあいさつといたします。



福島県農林水産部長 沖 野 浩 之



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃より本県畜産の振興に特段の御理解と御協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが五類に移行し、長い間中止されていた畜産関係の各種イベントがコロナ禍前のように開催されるとともに、特定復興再生拠点区域の避難指示が全て解除され、畜産業が盛んであった相双地域の営農再開がさらに加速することが期待されるなど、明るい話題がありました。

その一方で、飼料価格の高止まり等による生産コストの上昇や、消費の冷え込みに起因する牛肉価格や子牛価格の低迷、高病原性鳥インフルエンザの全国的な発生による鶏卵不足など、畜産業をめぐる情勢は非常に厳しい一年でありました。

このような中、輸入粗飼料に依存しない自給飼料生産体制や高品質な畜産物の安定供給の強化などが重要であり、県では、飼料価格の上昇分の一部支援に加え、子実用とうもろこしの栽培実証や草地面積の拡大支援、生乳生産効率を高める能力の高い乳用雌牛の導入支援、A I 肉質診断装置を活用した肉用牛の飼養管理技術の向上、新たなブランドとして全国新酒鑑評会において金賞受賞数九回連続日本一を獲得した本県のおいしい日本酒の「酒粕を給与した福島牛」の生産技術の確立・PR、マスメディアやオンラインストアを活用した畜産物の販売促進などを通して、福島県農林水産業振興計画に掲げる『『もうかる』『誇れる』共に創るふくしまの農林水産業と農山村』の実現に向け取り組んでまいります。

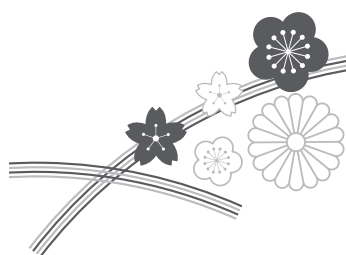
家畜衛生につきましては、高病原性鳥インフルエンザの流行に厳重な警戒が必要な状況が続いています。本県では、昨シーズン、養鶏場における高病原性鳥インフルエンザが初めて発生した経験を踏まえ、防疫対策マニュアルの改正

や各地での防疫演習の実施、関係団体との連携強化等に取り組んでいるところです。今後とも農場における早期発見、早期通報や、飼養衛生管理基準の遵守を徹底するなど、危機感をもって防疫対策に取り組んでまいりますので、皆様の御協力をお願いいたします。

県といたしましては、今後とも、皆様が安心して畜産経営を継続・発展していけるように様々な政策を講じてまいりますので、生産者の皆様には各種事業等を効果的に活用していただきながら、畜産生産基盤の強化と経営の持続的発展に取り組んでいただくとともに、関係機関・団体の皆様方には、引き続き各種施策の推進に、御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、本県畜産業の振興に向け、一層の御尽力をお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとってすばらしい年になりますよう心からお祈り申し上げ、年頭の御挨拶といたします。





年頭の御挨拶

農林水産省東北農政局福島県拠点
地方参事官 松 井 章 房



新年、明けましておめでとうございます。

令和6年の新春を迎えるに当たり、年頭の御挨拶を申し上げます。

昨今の物価高騰や円安の影響は我が国社会経済に多大なる影響を与えております。とりわけ畜産業には飼料、燃料、肥料などの各種生産資材の高騰という形で影響を受けるとともに、生活防衛意識の高まりによる畜産物の消費低迷により畜産農家の経営が厳しい状況になっております。

農林水産省として、これまで様々な対策により、畜産基盤の維持に尽力してまいりました。配合飼料価格の高騰に対して、これまで2,000億円超の国費を投じ生産者負担の軽減を図ってきました。畜種別の対策においても、肉用牛肥育農家には牛マルキン、繁殖農家には肉用子牛生産者補給金の発動等、養豚農家には豚マルキン、酪農家には加工原料乳生産者補給金、養鶏農家には鶏卵生産者経営安定対策事業等の畜産・酪農経営安定対策を措置してきたところで

です。令和6年度の畜産物価格等については、食料・農業・農村政策審議会の諮問・答申を経て、昨年12月13日に決定したところであり、今年も、引き続き、生産者を下支えする畜種ごとの経営安定対策や金融支援などの施策を総合的に講じていく必要があると考えています。

特に、畜産・酪農の生産基盤の強化として、肉用牛・乳用牛・豚・鶏の改良を推進するとともに、肉用牛の肥育期間の短縮・出荷時期の早期化や繁殖肥育一貫経営生産の支援、乳用牛については従来型の配合飼料多給による乳量偏重の乳用牛から、長命連産性に重きを置いた強健な乳用牛へ牛群構成の転換を図ることにより、乳牛育成・導入費、飼料費等のコストや環境負荷の低減に資する持続的な酪農経営への移行を支援してまいります。

また、畜産・酪農の省力化やスマート化に加え、国産飼料の生産・利用の拡大に向け、耕畜連携の推進や外部組織による飼料生産の効率化を図ってまいります。

少子高齢化等により国内の食のマーケットの縮小が見込まれる中、畜産業の発展には、旺盛な需要の創出も不可欠です。政府においては、農林水産物・食品について、2025年までに2兆円、2030年までに5兆円の輸出額目標を設定していますが、重点品目に位置づけられる畜産品（牛肉、牛乳・乳製品、鶏卵、豚肉、鶏肉）の輸出額は堅

調に増加を続けており、令和4年には1,268億円と過去最高額を更新しました。令和5年についても、10月時点で昨年同期の額を上回る1,078億円となっております。農林水産省では引き続き輸出目標の達成に向け、オールジャパンでのプロモーション等の取組や、生産者・関係事業者（食肉、乳業メーカー）・輸出事業者が連携した「コンソーシアム」による一貫した輸出促進の支援、輸出先国が求める水準を満たす施設の整備への支援等を通じ、更なる輸出拡大を推進してまいります。

国内需要についても、関連イベント等を活用した消費拡大やインバウンド需要の喚起の取組を推進します。加えて、原発事故に関して、安全な畜産物を供給するため、適切な飼養管理の徹底と検査体制の強化、草地の放射性物質吸収抑制対策と汚染廃棄物の処理等を関係省庁等と連携して推進するとともに、「食べて応援しよう！」をキャッチフレーズに、被災地及び周辺地域で生産・製造されている農林水産物の積極的な消費拡大を促進しております。本年も、被災地域における営農再開の推進にしっかりと取り組んでまいります。

家畜防疫関係では、昨年11月以降、国内で高病原性鳥インフルエンザが発生しています。全国どこで発生してもおかしくない状況であり、最大限の警戒をお願いいたします。また、高病原性鳥インフルエンザだけでなく、豚熱やアフリカ豚熱などの家畜伝染病についても、関係者と危機感を共有し、飼養衛生管理の徹底を基本とした発生予防・まん延防止対策と水際の侵入防止対策に福島県等と連携して全力で取り組んでまいります。

最後になりますが、令和6年度は、食料・農業・農村基本計画や酪肉近改訂、すなわち畜産業を含む農林水産業の将来を関係者全体で議論する重要な年です。農林水産省として、将来に向けて持続的な畜産を構築すべく、高い目標を掲げつつも、地に足の付いた方針を打ち出していきたいと考えております。このためには、今まで以上に、生産現場、流通業界、行政の密な連携が重要となります。皆様におかれましては、昨年にも増して、畜産行政への御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方の一層の御健勝と御活躍を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

第64回福島県農業賞（経営改善部門）受賞 「有限会社 武田ファーム」

県中農林事務所農業振興普及部

有限会社武田ファームは、郡山市阿久津町で肉用牛の大規模経営を行っています。平成17年に法人化し、現在、肥育牛250頭と経営安定を図るために導入した繁殖牛24頭の一貫経営で、社員5名により郡山のブランド牛「うねめ牛」を生産しています。「うねめ牛」は、郡山市で約20か月飼養された未經産牛の雌牛で、かつ肉質等級が4以上のもののみで規格された品質の高いブランド牛であり、代表の武田晃一氏は「采女牛を育てる会」の立ち上げに尽力し、平成22年から会長としてブランドの維持、発展をけん引してこられました。「うねめ牛」は、首都圏の飲食店の他、県内でも地元食肉直売所や焼肉店、料亭などで提供され、高い評価を得ています。

有限会社武田ファームでは、牛温計や自動給餌器などのICT機器の導入やミストの設置によるアニマルウェルフェアに配慮した飼養環境の改善、「福島牛」AI肥育確立事業を活用した超音波診断の実施などの先進技術を取り入れるなど、良質な和牛生産に日々励んでおり、その品質は数多

くの共励会で上位入賞を収め、高く評価されています。

また、近隣の耕種農家へたい肥を供給し、稲わらと交換する資源循環の取組など、地域に根ざした経営を行うとともに、阿久津地区の人・農地プランの中心経営体として、同地区の課題である遊休農地の解消に向けて、積極的に取り組んでいます。

さらに、武田氏は指導農業士として農業研修生を受入れ、担い手の確保や新規就農者の育成にも尽力しているほか、同社に就農した長男・侑也氏の管理した牛が共励会で優秀賞を受賞しており、後進の育成においても意欲的に取り組み、実績を上げています。

今後は、さらに規模拡大を進め、「うねめ牛」のさらなるブランド力の強化と販路拡大を図るとともに、遊休農地等を活用した牧草とWCS用稲の作付けを行い、粗飼料の自給率を向上させ、飼料コスト低減と経営基盤の強化を図ることとしています。



有限会社武田ファーム武田晃一代表取締役（左）と武田エミ取締役

福島の大自然とみつばちからの恵み



天然はちみつをどうぞ

福島県養蜂協会

〒960-8502

福島市南中央三丁目36番地（福島県畜産振興協会内）
TEL 024-573-0515 FAX 024-573-0565



美容と健康に
おいしく
はちみつはいかが！

速報

基幹種雄牛「^{たかふくひさ}隆福久」デビュー

福島県基幹種雄牛 歴代最高！

BMSNo. 9.0 歩留基準値 76.1%

血 統

隆之国
(島根・出雲)福之国
(宮崎・宮崎)第17 たかこ
(宮崎・都城)安福久
(栃木・那須)ちよこ3
(福島・石川)北国7の8
(島根・大田)隆 桜
(兵庫・美方)安福165の9
(岐阜・高山)勝忠平
(鹿児島・薩摩)

生年月日：平成30年6月29日

登録番号：黒原6332

産 地：石川郡平田村

繁 殖 者：大竹 金一氏

※遺伝病フリー

凍結精液は各地域のサブセンターを通じて供給いたします。

凍結精液購入希望の方は、福島県畜産振興協会（024-573-0513）までお問い合わせください。

肉用子牛のための「強化」哺育専用代用乳」ができました！！

カーボアップEX ブラック



“強化”哺育とは…

- ・子牛が本来もっている発育能力をフルに発揮させる哺乳方法です。
- ・従来の粉ミルクとは全く違った栄養バランスの粉ミルクを、通常よりも多く給与することにより、フレームのしっかりした牛に育ちます。また、固形飼料の摂取量低下を防ぎ、より食い込める素牛への成長を助けます。

福島県酪農業協同組合 〒969-1103 本宮市仁井田字一里壇17 TEL：0243-33-1101(代)

福島県酪農経営負担軽減対策事業

福島県農林水産部畜産課

配合飼料が高止まりする中でも持続的に安定した酪農経営ができるよう、従来型の配合飼料多給により生乳を生産する飼養管理から、生乳生産コストの低減が期待できる泌乳持続性の高い酪農経営への転換を図ることを支援する。

- (1) 補助対象 本県酪農家
- (2) 補助率 経産牛1頭あたり 20千円以内
- (3) 事業実施主体 福島県酪農業協同組合、全国農業協同組合連合会福島県本部 など
- (4) 事業費 154,600千円
- (5) 事業計画承認予定時期 令和6年2月頃
- (6) 取組完了予定時期 令和6年10月頃

【ポイント】

- 飼料価格の高止まりの影響を受け、**酪農経営は厳しい状況**である。
- 配合飼料が高止まりする中でも持続的に安定した酪農経営ができるよう、従来型の配合飼料多給により生乳を生産する飼養管理から、生乳生産コストの低減が期待できる**泌乳持続性の高い（泌乳量が安定して続く）酪農経営への転換**を図る必要がある。

【目標】泌乳持続性の向上＝経産牛1頭当たりの産次数増加（生産寿命延長）

【事業の内容】

泌乳持続性アップに資する8つの取組メニューから3つを行う酪農家に対して支援する。

＜取組メニュー＞

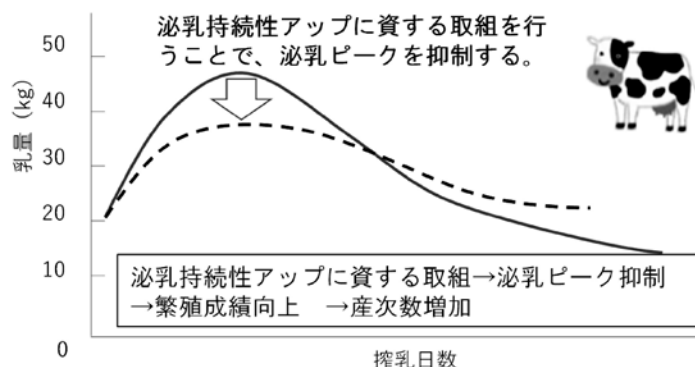
- ①飼料用トウモロコシ利用
- ②牧草の作付面積拡大
- ③良質堆肥の有効活用
- ④飼料成分分析に基づく飼料設計の改善
- ⑤牛群検定を活用した生産性の向上
- ⑥多回給餌
- ⑦乳酸菌、アミノ酸等の飼料添加物の利用
- ⑧飼養環境の向上

- ▶3つのうち1つ以上は新たに取組むこと
- ▶3つの取組を行うことにより産次数の増加を目標とした事業計画を作成すること

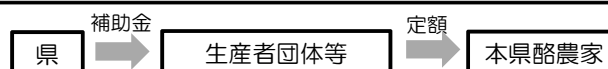
・対象：本県酪農家（生産者団体等経由）

・補助単価：経産牛1頭当たり20,000円

【事業のイメージ】



【事業の流れ】



【お問い合わせ先 福島県畜産課 024-521-7365】



動物と人の間に、いつもゼノアック。



日本全業工業株式会社
福島県砂山町安積町菅川字平ノ上1-1
ZENOAQ www.zenoaq.com



素敵なハーバリウム教室を開催

県内の畜産に携わる女性を対象に、技術の向上、担い手としての意識の高揚、積極的な経営参画並びに情報交換による生産者同士の交流を目的として平成20年7月11日に発足したうつくしま福島畜産mother'sクラブ e-ENでハーバリウム教室を開催しました。

木目澤久實子会長より「コロナウイルスも第5類に移行し、徐々に対面での行事が再開されてきました。畜産の情勢はどの業種も今までになく厳しい状況ですが直接会って話を聞くことで、Webとは一味違い、仲間が頑張る姿を感じる事ができとても励みになっています。今後も行事を通してみんなで一緒に畜産を少しでも盛り上げていけたらと思います。」と挨拶があり、(株)仲ちゃん牧場取締役専務の長谷川和子さんを講師に、参加者でハーバリウムを作成しました。

参加者からも楽しかったとの声が寄せられ、久しぶりにリフレッシュできた様子でした。



作成した作品を前に記念撮影

子牛初セリにおいて牛鍋イベントを4年ぶりに再開

令和6年1月9日、10日に本宮市県家畜市場で全農福島県本部による和牛子牛市場（初セリ）の開催に合わせ「うつくしま福島畜産mother'sクラブ e-EN」主催、全農福島県本部並びに（公社）福島県畜産振興協会の協賛により、牛鍋イベントを開催しました。

このイベントは、県内の畜産に携わる女性の仲間たちが、東日本大震災後、福島県の子牛を信頼して購入してくれる購買者や関係者に感謝の気持ちと、同じ生産者への励ましの思いも込めて少しでも温かいものをと、黒毛和牛を使った牛鍋を初セリに振舞っていた牛鍋イベントで、新型コロナウイルス感染症対策の影響で3年間中止となり、今回4年ぶりの開催となりました。

再開を楽しみにしていた生産者も多く、準備した800食（2日間で1,600食）の牛鍋がお昼頃には完食という盛況振りででした。

暖冬の影響で雪のない初セリとなりましたが、冷たい風が吹き付ける中、寒さで冷えた体を、気持ちの込められた牛鍋のおいしさで、温めてもらったなどの感想をいただきました。

畜産情勢の厳しい中ですが、これからみんなで励まし合い少しでも畜産を盛り上げていけたらと思います。

また、イベント開催にあたり数々のご協力を賜りましたこと、この場をお借りして感謝申し上げます。



木目澤会長より牛鍋イベントアナウンス



牛鍋



配布の様子

うつくしま福島畜産 mother's クラブ e-EN からのお知らせ

うつくしま福島畜産mother'sクラブ e-ENでは会員を募集しています。

マザーズクラブは、福島県内の畜産に携わる女性が飼養畜種を越えて、日頃の思いを発信する場、お互いの情報交流・研鑽の場、消費者との交流や子供たちへの生命教育等の活動をする場として集い、技術向上、担い手としての意識の高揚等、積極的な経営参画並びに将来の経営に夢や希望意欲を持って専念できるよう、生産者相互の交流に資するため活動をしています。

気軽に楽しい集まりですので畜産の仲間が集まり、一緒に楽しい時間を過ごしませんか！

入会金・年会費は無料ですので、入会ご希望の方は公益社団法人福島県畜産振興協会（担当：野田 TEL024-573-0515 FAX 024-573-0565）までご連絡ください。

※協会HPに入会申込書がありますので、必要事項をご記入の上、メール・FAXしていただいてもOKです。

御用命は

- ◎牛用・豚用・鶏用
各種ワクチン類
- ◎家畜防疫資材
- ◎家畜用医薬品
- ◎家畜用衛生資材

福島県動物薬品器材協会
事務局 株式会社アスコ内
〒970-0043 福島市本宮字下台18-12

小田島商事株式会社
福島市鎌田字卸町十一の四
〒970-0043 福島市本宮字下台18-12

日本全業工業株式会社
福島営業所
郡山市安積町笹川字平の上一
〒970-0043 福島市本宮字下台18-12

株式会社アグロジャパン
南東北営業部(福島)
郡山市開成六丁目六七一
〒970-0043 福島市本宮字下台18-12

日新殖産株式会社
伊達市梁川町字東塩野川二五一
〒970-0043 福島市本宮字下台18-12

株式会社アスコ
本宮市本宮字下台18-12
〒970-0043 福島市本宮字下台18-12

「動物用医薬品は、
正しく使用し、
休薬期間を
厳守しましょう」

肉用子牛生産者補給金制度発動状況

令和5年度第3四半期（令和5年10月～12月）

（単位：円／頭）

区 分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳 用 種	交 雑 種
保 証 基 準 価 格	556,000	507,000	325,000	164,000	274,000
合 理 化 目 標 価 格	439,000	400,000	256,000	110,000	216,000
平 均 売 買 価 格	522,500	574,500	—	182,900	326,600
補 給 金 単 価	33,500	—	—	—	—

※「その他の肉専用種（日本短角種等）」については、令和2年度より算定期間を1年（4月～3月）としています。
令和5年度第3四半期においては、黒毛和種について、平均売買価格が保証基準価格を下回ったことから生産者補給金（33,500円／頭）が交付されることとなりました。

和子牛生産者臨時経営支援事業発動状況

令和6年1月23日付け機構より公表された平均価格は以下のとおりです。
黒毛和種については、平均価格が発動基準価格を下回ったため、全てのブロックで支援交付金が発動します。
東北ブロックの支援交付金単価は33,000 円／頭となります。
また、その他の肉専用種（算定が1年間）についても、全国平均価格が発動基準価格を下回ったため、各販売期間に応じて支援交付金が交付されます。
なお、本事業の事業実施期間は令和6年3月まで延長されます。

令和5年10月～12月分

（単位：円／頭）

品種・ブロック名	平均価格	支援交付金単価	発動基準価格
黒毛和種	北海道	578,717	15,900
	東北	529,588	33,000
	本州関東以西・四国	578,065	16,400
	九州・沖縄	500,496	49,500
褐毛和種	565,386	—	550,000
その他の肉専用種	225,689	22,500（R5.1～3月販売分）	350,000
		18,700（R5.4～12月販売分）	

- 注1：平均価格は、肉用子牛生産者補給金制度の対象となる6ヶ月齢～12ヶ月齢の肉用子牛の取引価格を用い、黒毛和種についてはブロック別、褐毛和種については全国で、四半期ごとに算出します。
その他の肉専用種については、令和5年1月～12月までの取引価格を用いて全国平均価格を算出します。
- 注2：支援交付金単価は、発動基準と平均価格の差の4分の3を乗じて得た額（百円未満切捨て）です。
なお、その他の肉専用種は、平均価格が保証基準価格を下回ったため、発動基準価格と保証基準価格との差額により支援交付金単価を算出します。保証基準価格は年度毎に定められるため、令和5年1～3月販売（令和4年度）と令和5年4～12月販売（令和5年度）に分かれて算出します。
- 注3：支援交付金単価の算出に用いるすべての価格は、消費税込みです。

肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン制度）発動状況

（単位：円／頭）

販売月		肉専用種（東北ブロック福島県）	交雑種（全国）	乳用種（全国）
令和5年10月	暫定単価	126,352.8	51,598.8	0.0
	概算払い単価	119,352.8	44,598.8	0.0
	精算払い単価	7,000.0	7,000.0	0.0
令和5年11月	暫定単価	50,439.6	16,810.2	0.0
	概算払い単価	43,439.6	9,810.2	0.0
	精算払い単価	7,000.0	7,000.0	0.0

※令和4年7月販売分より概算払単価は、標準的生産費と標準的販売価格との差額に100分の90を乗じた額から7,000円を控除した額となります。

●品質と信頼の●



くみあい配合飼料



JA全農北日本くみあい飼料株式会社

本 社
〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野一丁目12-1 いちご仙台イーストビル
TEL (022) 792-8040(代)

南東北支店 福島営業所
〒963-0725 郡山市田村町金屋字川久保23 JA全農福島郡山ビル2F
TEL (024) 941-0825
FAX (024) 941-0827

令和6年度 福島県家畜市場総合カレンダー

令和6年 4	日 曜	1 月	2 火	3 水	4 木	5 金	6 土	7 日	8 月	9 火 全農	10 水 全農	11 木 全農	12 金 県酪協	13 土	14 日	15 月	16 火	17 水	18 木 全農	19 金	20 土	21 日	22 月	23 火	24 水	25 木	26 金	27 土	28 日	29 月	30 火	
	日 曜									和子牛	和子牛	成牛	乳子牛						乳子牛													
	上場																															
5	日 曜	1 水	2 木	3 金	4 土	5 日	6 月	7 火	8 水	9 木 全農	10 金 全農	11 土	12 日	13 月	14 火 県酪協	15 水	16 木	17 金	18 土	19 日	20 月	21 火 全農	22 水	23 木	24 金	25 土	26 日	27 月	28 火	29 水	30 木	31 金
	日 曜									全農	全農				県酪協							全農										
	上場									和子牛	和子牛				乳子牛							乳子牛										
6	日 曜	1 土	2 日	3 月	4 火	5 水 全農	6 木 全農	7 金 全農	8 土	9 日	10 月	11 火	12 水	13 木 県酪協	14 金	15 土	16 日	17 月	18 火 全農	19 水	20 木	21 金	22 土	23 日	24 月	25 火	26 水	27 木	28 金	29 土	30 日	
	日 曜					全農	全農	全農						県酪協					全農													
	上場					和子牛	和子牛	成牛						乳子牛					乳子牛													
7	日 曜	1 月	2 火	3 水 全農	4 木 全農	5 金 全農	6 土	7 日	8 月	9 火	10 水	11 木 県酪協	12 金	13 土	14 日	15 月	16 火	17 水	18 木 全農	19 金	20 土	21 日	22 月	23 火	24 水	25 木	26 金	27 土	28 日	29 月	30 火	31 水
	日 曜			全農	全農	全農						県酪協							全農													
	上場			和子牛	和子牛	成牛						乳子牛							乳子牛													
8	日 曜	1 木	2 金	3 土	4 日	5 月	6 火 全農	7 水 全農	8 木 全農	9 金 県酪協	10 土	11 日	12 月	13 火	14 水	15 木	16 金	17 土	18 日	19 月	20 火	21 水 全農	22 木	23 金	24 土	25 日	26 月	27 火	28 水	29 木	30 金	31 土
	日 曜						全農	全農	全農	県酪協												全農										
	上場						和子牛	和子牛	成牛	乳子牛												乳子牛										
9	日 曜	1 日	2 月	3 火	4 水 全農	5 木 全農	6 金 全農	7 土	8 日	9 月	10 火	11 水	12 木 県酪協	13 金	14 土	15 日	16 月	17 火	18 水 全農	19 木	20 金	21 土	22 日	23 月	24 火	25 水	26 木	27 金	28 土	29 日	30 月	
	日 曜				全農	全農	全農						県酪協						全農													
	上場				和子牛	和子牛	成牛						乳子牛						乳子牛													
10	日 曜	1 火	2 水	3 木	4 金	5 土	6 日	7 月	8 火 全農	9 水 全農	10 木 全農	11 金 県酪協	12 土	13 日	14 月	15 火	16 水	17 木	18 金 全農	19 土	20 日	21 月	22 火	23 水	24 木	25 金	26 土	27 日	28 月	29 火	30 水	31 木
	日 曜								全農	全農	全農	県酪協								全農												
	上場								和子牛	和子牛	成牛	乳子牛							乳子牛													
11	日 曜	1 金	2 土	3 日	4 月	5 火 全農	6 水 全農	7 木 全農	8 金	9 土	10 日	11 月	12 火 県酪協	13 水	14 木	15 金	16 土	17 日	18 月 全農	19 火	20 水	21 木	22 金	23 土	24 日	25 月	26 火	27 水	28 木	29 金	30 土	
	日 曜					全農	全農	全農					県酪協						全農													
	上場					和子牛	和子牛	成牛					乳子牛						乳子牛													
12	日 曜	1 日	2 月	3 火	4 水 全農	5 木 全農	6 金 全農	7 土	8 日	9 月	10 火	11 水	12 木 県酪協	13 金	14 土	15 日	16 月	17 火	18 水 全農	19 木	20 金	21 土	22 日	23 月	24 火	25 水	26 木	27 金	28 土	29 日	30 月	31 火
	日 曜				全農	全農	全農						県酪協						全農													
	上場				和子牛	和子牛	成牛						乳子牛						乳子牛													
令和7年 1	日 曜	1 水	2 木	3 金	4 土	5 日	6 月	7 火	8 水 全農	9 木 全農	10 金 全農	11 土	12 日	13 月	14 火 県酪協	15 水	16 木	17 金	18 土	19 日	20 月	21 火 全農	22 水	23 木	24 金	25 土	26 日	27 月	28 火	29 水	30 木	31 金
	日 曜								全農	全農	全農				県酪協							全農										
	上場								和子牛	和子牛	成牛				乳子牛							乳子牛										
2	日 曜	1 土	2 日	3 月	4 火	5 水 全農	6 木 全農	7 金 全農	8 土	9 日	10 月	11 火	12 水	13 木 県酪協	14 金	15 土	16 日	17 月	18 火 全農	19 水	20 木	21 金	22 土	23 日	24 月	25 火	26 水	27 木	28 金			
	日 曜					全農	全農	全農						県酪協					全農													
	上場					和子牛	和子牛	成牛						乳子牛					乳子牛													
3	日 曜	1 土	2 日	3 月	4 火	5 水 全農	6 木 全農	7 金 全農	8 土	9 日	10 月	11 火	12 水	13 木 県酪協	14 金	15 土	16 日	17 月	18 火 全農	19 水	20 木	21 金	22 土	23 日	24 月	25 火	26 水	27 木	28 金	29 土	30 日	31 月
	日 曜					全農	全農	全農						県酪協					全農													
	上場					和子牛	和子牛	成牛						乳子牛					乳子牛													

※[全農福島]: J A全農福島 開催日 県酪協: 福島県酪農協 開催日

家 畜 市 場 名	市場開設団体	電話番号【FAX】	取引家畜
福 島 県 家 畜 市 場 (本宮市) 0243-39-2636 【FAX】 39-2690 (市場は開設日のみ)	J A 全農福島(家畜市場課)	【TEL】024-983-0570 【FAX】024-956-0420	和牛子牛・成牛・乳子牛
	福島県酪農業協同組合(購買畜産課)	【TEL】0243-33-4011 【FAX】0243-33-6983	毎 月: 肉用乳子牛 5・7・9・11・1・3月: 妊娠牛・雄子牛も併設
	(管理団体) 公益社団法人福島県畜産振興協会(業務課)	【TEL】024-573-0513 【FAX】024-573-0565	

※ 御購買・輸送等は開設又は上場組合にご相談ください。

全国農業協同組合連合会 福島県本部 福島県酪農業協同組合 公益社団法人 福島県畜産振興協会

家畜取引状況報告

令和5年11～12月 和牛子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

(税込み)

開催月	性別	頭数 (頭)	取引価格 (円)			平均体重 (kg)	平均単価 (円/kg)	平均日齢 (日)	販売先	
			最高	最低	平均				県内	県外
11	雌	286	1,084,600	124,300	504,031	294	1,715	290	141	145
	雄	1	199,100	199,100	199,100	144	1,383	277		1
	去勢	386	1,178,100	231,000	618,656	321	1,930	286	223	163
	計	673	1,178,100	124,300	569,321	309	1,843	288	364	309
12	雌	310	909,700	60,500	546,870	288	1,896	288	139	171
	雄									
	去勢	520	1,108,800	83,600	636,494	314	2,026	280	276	244
	計	830	1,108,800	60,500	603,020	305	1,980	283	415	415

令和5年11～12月 乳子牛市場成績（県家畜市場）

福島県酪農業協同組合

(税込み)

開催月	種別	頭数 (頭)	取引価格 (円)		
			最高	最低	平均
11月 第337回	ホル雄	41	90,200	1,100	49,259
	ホル去勢				
	ホルフリー	1	15,400	15,400	15,400
	F ₁ 雌	74	162,800	1,100	89,293
	F ₁ 雄	81	207,900	11,000	111,847
	和牛雌	24	255,200	174,900	215,050
	和牛雄	40	320,100	16,500	243,403
	和牛去勢				
12月 第338回	計・平均	261	320,100	1,100	124,903
	ホル雄	39	135,300	16,500	85,885
	ホルフリー	1	3,300	3,300	3,300
	F ₁ 雌	53	158,400	1,100	94,413
	F ₁ 雄	75	188,100	1,100	108,079
	和牛雌	19	327,800	60,500	238,758
	和牛雄	35	412,500	115,500	301,274
	和牛去勢				
	計・平均	222	412,500	1,100	142,088

令和5年11～12月 乳子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

(税込み)

開催月	資格	頭数 (頭)	取引価格 (円)			平均単価 (円/kg)	平均体重 (kg)
			最高	最低	平均		
11	乳登						
	妊娠牛						
	E T 和雌	4	240,900	213,400	227,975	2,368	96
	E T 和雄	5	334,400	249,700	282,040	2,681	105
	乳雌牛	1	17,600	17,600	17,600	271	65
	乳雄牛	14	66,000	1,100	35,828	537	67
	乳去勢子						
	F ₁ 雌(育成)						
	F ₁ 去(育成)						
	F ₁ 雌(スモール)	47	168,300	2,200	103,377	1,343	77
	F ₁ 雄(スモール)	37	190,300	20,900	127,838	1,561	82
	計・平均	108	334,400	1,100	115,093	1,453	79
12	乳登						
	妊娠牛						
	E T 和雌	6	360,800	216,700	305,066	3,040	100
	E T 和雄	13	532,400	339,900	429,254	3,894	110
	乳雌牛						
	乳雄牛	17	50,600	5,500	32,288	417	77
	乳去勢子						
	F ₁ 雌(育成)						
	F ₁ 去(育成)						
	F ₁ 雌(スモール)	51	145,200	1,100	69,235	954	73
	F ₁ 雄(スモール)	37	203,500	23,100	87,762	1,142	77
	計・平均	124	532,400	1,100	118,853	1,489	80

牛も安心 地球も安心

福島県推奨のたね

県奨励品種優良牧草・飼料作物種子
福島県畜産振興協会

〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地

Tel 024-573-0515

Fax 024-573-0565

地方競馬 場外発売日程

上段「ニュートラック福島」(大井競馬専用場外)TEL.024-554-0040
下段「オーブス磐梯」(大井競馬専用場外)TEL.0242-74-1130

(2月)

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
曜	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	(月)	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	(金)	土	(日)	月	火	水	木
ニュートラック 福島	川崎					笠 船	松 橋				大井								笠 浦	松 和							大井		
オーブス磐梯	川崎					船 橋					大井								浦 和								大井		

(3月)

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
ニュートラック 福島	大井				笠松	船橋					水沢	川崎						水沢	大井	笠松					水沢	浦和			水沢		
オーブス磐梯	大井				船橋						川崎							大井							浦和						



※ 発売日程は、変更になることがあります。

地方競馬の収益金は、畜産振興及び地方財政の改善に活用されています。



地方競馬全国協会